

# 「支える」スポーツの新たな展開について

資料2

## 1 長岡市スポーツ推進計画での位置づけ



計画期間：平成 29 年度～令和 8 年度

### 6-5 「支える」スポーツの現状と今後の課題

#### ●地域のスポーツ活動の基盤強化

本市では、市民が身近な場所でスポーツに親しむことができる基盤としてコミュニティスポーツ推進組織の育成に力を注いでいます。

長岡地域の各地区では、コミュニティセンターを核としたコミュニティスポーツ推進組織が設置されており、地域スポーツ活動の活発化・活性化を進めています。支所地域ではコミュニティセンターの開設に合わせて体制構築を進めるとともに、コミュニティセンターが未設置の地域等では、国が推奨する総合型地域スポーツクラブの設立により、地域住民が自主的・主体的に運営を支えています。

#### 《これからの課題》

- 地域それぞれの良さを活かしたスポーツの振興を図るためには、地域毎に健康体力づくりやスポーツを推進する基盤となる組織の強化が極めて重要です。
- 地域におけるスポーツをさらに活性化していくためには、身近な場所でスポーツに親しむ環境づくりが必要であり、地域住民が自主的・主体的に運営するコミュニティスポーツ推進組織や総合型地域スポーツクラブの育成を図る必要があります。

## 目標 4 「支える」スポーツの推進

### 今後の方向性

- 市民スポーツを支える地域主体の基盤が極めて重要であり、基盤となるコミュニティスポーツ推進組織による、身近な場所でスポーツに親しむことができる体制の整備
- スポーツをする人、しない人の「二極化」の改善に向けた、専門指導者の養成やコーディネーター等の適切な配置
- 新たなスポーツへの関わり方として、スポーツボランティアを育成
- スポーツ活動の拠点となる施設の安全・安心の確保、市民が利用しやすい施設に向けた計画的な整備

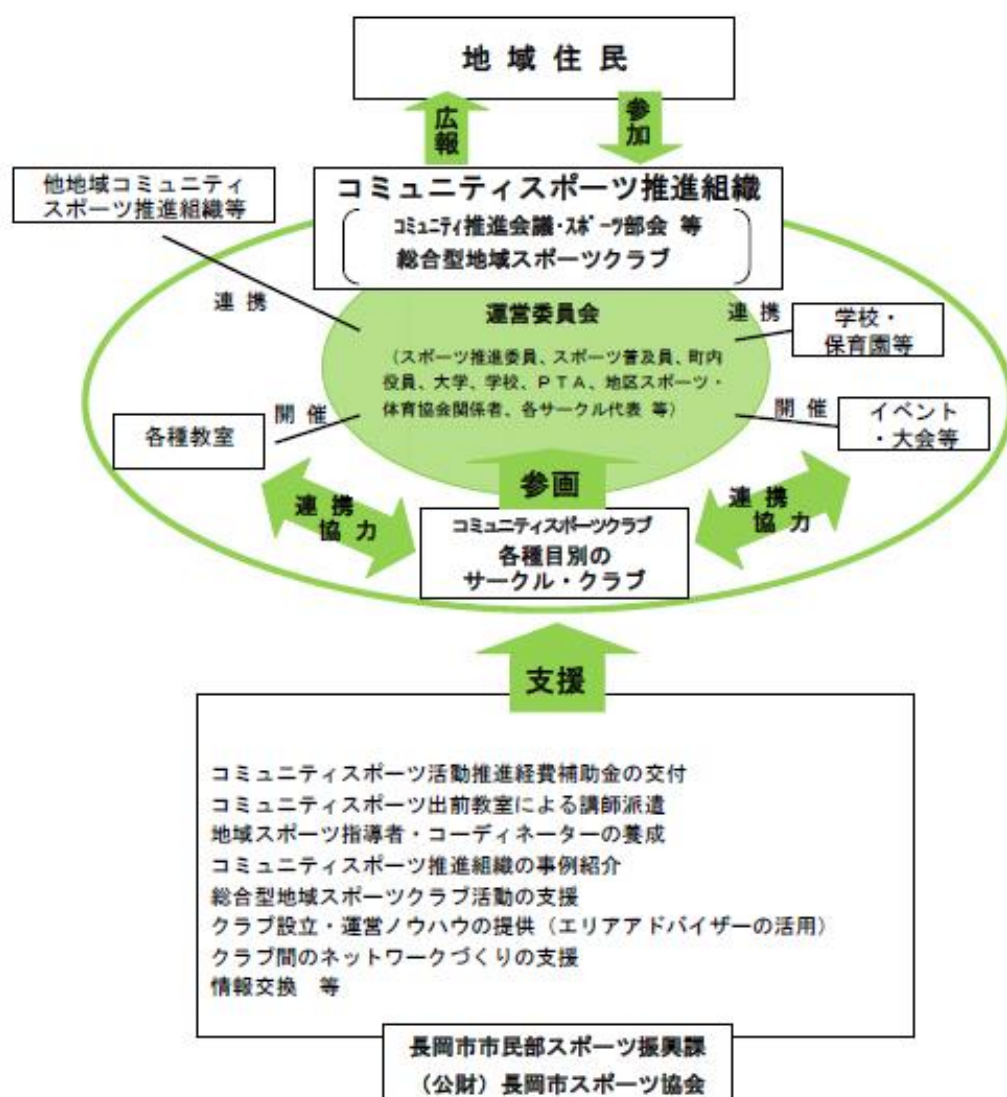
コミュニティスポーツ推進組織の活動支援を【重点施策】に位置づけている。

### 推進項目

### 取り組み

<b>4-1 スポーツ活動の基盤強化</b>	<p>(22) コミュニティスポーツ推進組織の活動支援 【重点施策】</p> <p>(23) 地域資源である市内の大学・企業・指定管理者と連携したスポーツ活動の推進</p> <p>(24) スポーツ・レクリエーション団体の活動支援</p>
<b>4-2 スポーツに携わる人材の充実</b>	<p>(25) 地域指導者やコーディネーターの養成</p> <p>(26) 子ども対象の指導者の養成と拡充</p> <p>(27) 指導者の指導力・資質向上</p> <p>(28) 様々な分野でのスポーツノウハウ還元策の研究</p> <p>(29) スポーツボランティアの育成</p>
<b>4-3 スポーツ施設・環境の充実</b>	<p>(30) スポーツ施設の計画的整備</p> <p>(31) スポーツ施設の利用環境の向上</p> <p>(32) 施設等の特性に沿った整備</p>

■地域住民が自主的・主体的に推進する体制（地域のスポーツ活動基盤）



- ※ コミュニティスポーツ推進組織とは、コミュニティを拠点として活動する各種目別のスポーツクラブ・サークル（コミュニティスポーツクラブ）をはじめ、スポーツ関係団体や関係者等の地域住民が主体的に参画して、コミュニティスポーツを推進する組織をいいます。定期的な種目別活動に加えて各種教室やイベントの開催を行います。
- ※ 現在、コミュニティスポーツ推進組織が未設置の地域については、総合型地域スポーツクラブがその役割を担います。
- ※ コミュニティスポーツ推進組織と総合型地域スポーツクラブの両方が設立されている地域については、双方が連携して、地域スポーツの推進にあたります。

## 2 推進計画（中間見直し）における課題認識

### 目標 4

## 「支える」スポーツの推進

#### テーマ

市民が身近な場所でスポーツを楽しみ、スポーツを支える

#### 推進項目

- 4-1 スポーツ活動の基盤強化
- 4-2 スポーツに携わる人材の充実
- 4-3 スポーツ施設・環境の充実

#### 後期期間の方針

市民の心身の健康、体力づくりにつながるスポーツ環境を目指して、ソフト及びハード両面から支える体制づくりを強化します。

#### 成果指標

項目	H27(2015) (基準値)	R3(2021) (中間目標値)	R4(2022) (実績値)	R8(2026) (目標値)
日本スポーツ協会公認 スポーツリーダー資格 取得者 1 人あたりの人口 ※人口÷資格取得者数	1 人あたり 550 人 (資格者503人)	1 人あたり 500 人 (資格者550人)	1 人あたり 828 人 (資格者315人)	1 人あたり 800 人 (資格者300人)

(根拠データ:担当課調べ)

#### 現状と課題

長岡市スポーツ少年団統計資料に基づく、登録団体数の減少に伴い、指導者も減少しており、1 人あたりの負担が大きくなっているほか、団体数に対する指導者の割合はほぼ横ばいとなっています。スポーツ少年団を含む競技団体が抱えている課題解決に向け、団体の運営体制を強化できるよう支援を拡充する必要があります。

また、今後の中学校部活動地域移行に伴う指導者確保の課題を含め、市民スポーツを支える基盤となるコミュニティスポーツの推進体系を見直しながら、支える側の環境整備を推進していく必要があります。

#### ◆活動上で感じる課題(上位5項目) (資料:団体意向調査)

カテゴリ	単位: %
会員の減少	56.5
新しい会員の参加(メンバーの高齢化・固定化)	34.8
運営体制の強化	33.3
活動資金・運営費の確保	31.9
活動場所の確保	23.2



### 3 「支える」というスポーツの楽しみ方

運営スタッフとして  
スポーツに関わりたい

アナリスト、グラウンドマネージャー  
としてチームに貢献したい

スポーツイベントを  
企画・運営したい



令和5年10月28日(土) 長岡市みしま会館

## ながおか・若者・ささえる スポーツ会議

ささえるスポーツって知ってますか？  
スポーツには「する」「みる」スポーツだけでなく、  
指導者やマネージャー、イベントのお手伝い、サポーターなど  
いろんな「ささえる」スポーツがある。「ささえる」人が  
いなければスポーツは続かないし、みんながスポーツを楽  
しめない。近年「ささえる」人が減っています。  
若者からスポーツを「ささえる」をあたりまえに、もっと広めるに  
はどうしたらいいかみんなの知恵を教えてください。

●時 間	9:30～16:00(受付9:00から)
●参加費	無料
●会 場	長岡みしま会館(上岩井1260-1)
●対 象	「ささえるスポーツ活動」 に興味のある中学生・高校生
●申込/問い合わせ	<a href="mailto:info@n-sports.or.jp">info@n-sports.or.jp</a> 0258-34-2130

★主催 (公財)長岡市スポーツ協会スポーツ少年団  
★共催 長岡市 (公財)新潟県スポーツ協会

9:30	開会式・オリエンテーション
10:30	みんなでeスポーツ体験
13:00	理解を深めるパート どんなささえるスポーツ活動がある か事例を聞いてみよう
15:00	アイデアパート ささえるスポーツを当たり前に 広めるには？
16:00	終わり

主 催 : 長岡市スポーツ協会

日 時 : 令和5年10月28日(土)

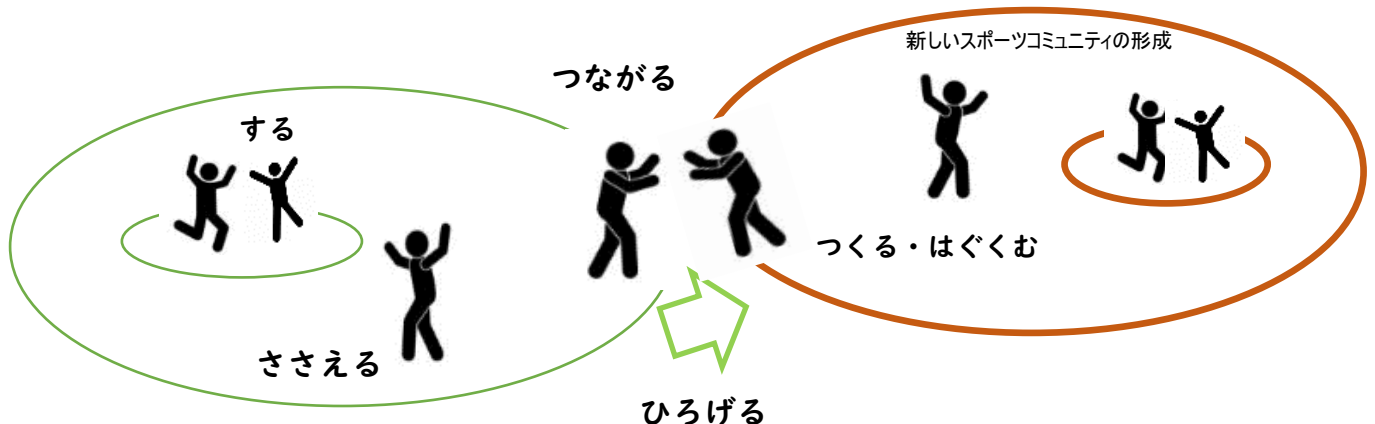
対 象 : 「ささえるスポーツ活動」に興味のある中学生・高校生

#### 4 「支える」スポーツのイメージ、方向性

○「支えるスポーツ」とは

例えば

- ・ スポーツクラブの指導者、コーチ、マネージャー、トレーナーなど
  - ・ 教室・大会の受付や運営に携わる
  - ・ 競技団体、少年団、部活動保護者会など会計や会の運営に携わる
  - ・ スポーツを観戦する、好きなスポーツクラブの応援をする
  - ・ スポーツ好きな人たちのコミュニティサイトを立ち上げる など
- 今まで無意識、無自覚、義務で携わっている人も多いかもしれないがすべて「支えるスポーツ」
- 「スポーツを支えたい」「スポーツで支えたい」「スポーツで社会貢献をしたい」という人材の発掘・育成が必要



- ・ スポーツを「する」人の周りには必ず支える人がいる。
  - ・ 支える人たちがいるからこそ、コミュニティが広がる。
  - ・ 支える人、広げる人を通して新しいスポーツコミュニティが形成される。
- ⇒ 多くの人が支えるスポーツに携わることで継続性、持続性が生まれる。

## 5 令和6年度取組について

### 「ささえるスポーツ活動普及促進事業」

#### 目 的

- 地域スポーツ活動の持続性向上を目的に、将来の地域スポーツを支える担い手を発掘・育成していく。
- 子どもの頃から「ささえる」スポーツを体験できる環境を整備する。

スポーツは苦手だけど、ささえる活動（スポーツボランティア）に楽しさを感じたり、人の役に立っていることや人々との出会いを喜びとして感じてもらうこともスポーツの楽しみ方の一つ。スポーツへの関わり方として「する」「みる」に加え、「ささえる」という選択肢も選べるようにしていく。

#### 事業概要

中学生～大学生を対象に、ささえるスポーツ活動の体験機会（2コース）を提供する。

	スポーツイベント サポートコース	スポーツイベント 企画・運営コース
体験内容	市やスポ協等のスポーツイベント等に運営スタッフとして協力	自分たちでスポーツイベント等を企画から運営まで体験
参加単位	個人	3人以上(責任者となる成人を必ず含める)
件 数	延べ 200 人	5 件
支援内容	謝礼（ながおかペイ 500 ポイント）	上限 100 千円を市が補助 市・教委が共催 外部講師のアドバイス
想定するイベント等のイメージ	・スポレクフェスタ ・ジュニアスポーツフェスタ ・支所スポーツイベント	・スポ少内での親子スポーツ大会 ・市内3校でのサッカー大会 ・学内でのスポーツイベント
育成したい人材	・地域スポーツイベントの運営スタッフ	・地域スポーツイベントの担い手 ・地域クラブの指導者